

表 2-3-1 内分泌かく乱化学物質と卵巣癌に関するコホート研究

地域・対象者	対象者数	追跡期間	化合物	検討された交絡要因	カテゴリ毎の相対危険度、SMR/SIRなど			
					1	2	3	P trend
Hoover, 1977 米国、ケンタッキー州 あるひとつの私立病院で 合成エストロゲンPremarinの経口投与 の経験ある白人女性。 後ろ向き研究	908名 うちDES と併用していた者 は21名。	1939-1969年	DES (Premarinと併用)		O/E=3/0.1, SIR 30 (95%CI: 6.2-87.7)			
Bibbo, 1978 米国 RCT 1951-1952年にDESの投与を 受けた群と受けなかった群	2162名。 曝露群840、 非曝露群806名。 (インタビューできた のは、曝露群693、 非曝露群668名)	1976-77まで追跡	DES	初潮年齢、妊娠回数、 出産児数、閉経年齢、 レセルピン服用歴、 経口避妊薬使用、 エストロゲン療法、 子宮摘出、家族歴、 身長 (曝露非曝露で差なし)	罹患率； 曝露群4 (0.6%)、非曝露群1 (0.2%)			
Titus-Ernstoff, 2001 米国、ボストン Mothers Study cohort (80年代) & Dieckmann Study cohort (50年代)	7560人 (曝露群3844, 非曝露群3716)	1994 までfollow-up	DES	年齢、暦年、 年齢_暦年 (調整) 調査参加時年齢、 年齢、暦年、 BMI、教育、家族歴、 初潮年齢、 経口避妊薬、流産、 最初の出産年齢、 妊娠、閉経年齢、 ホルモン療法、 子宮摘出、喫煙歴 (流産が曝露群で多いなど)	死亡相対危険度 (95%CI) 0.71 (0.28-1.75)			

表 2-3-2 内分泌かく乱化学物質と卵巣癌に関する症例対照研究

地域・対象者数 (症例/ 対照)	化合物	血清レベルの比較			カテゴリー毎のオッズ比					
		症例	対照	P値	1.00	2	3	4	P trend	
Donna, 1984 イタリア アレクサンドリア 病院ベース 60/127	農薬									
					卵巣中皮腫					
					1.00	曝露確実+可能性あり ; 4.38 (1.90-16.07)				
					1.00	曝露可能性あり ; 2.20 (0.77-6.32)				
Donna, 1989 イタリア アレクサンドリア省 20-69歳女性 病院患者 対照は人口対照 65/137	triazine		全対象者 農業労働者に限定							
						たぶん曝露	確実曝露			
					1.00	1.6 (0.8-3.0)	2.3 (0.9-5.7)			
					1.00	2.1 (0.8-5.2)	3.0 (1.1-8.5)			
Glinda S, 2004 米国 ロス・アンゼルス 18-74歳女性 Cancer Surveillance Program登録者 対照は20%HCF (Health Care Financing Administration)80%地域 人口ベース 356/424	phenolphthalein		含有緩下剤服用							
						上皮性卵巣がん 曝露なし				
					1.00	1.1 (0.75-1.5)				0.9

表 2-3-3 内分泌かく乱化学物質と卵巣癌に関するエコロジカル研究

地域・対象者数	化合物	血清レベルの比較			カテゴリ毎のオッズ比				
		症例	対照	P値	1(低)	2	3	4(高)	P trend
Schreinemacher, 1999 米国 ミネソタミ州の4地域 1980-1989 白人	ethylenebisdithiocarbamates などの除草剤(?)				SRR(95%CI) (都市、森林地域と比較) 第一地域: (とうもろこし、大豆地域) 0.84 (0.76-0.92) 第二地域: (小麦、とうもろこし、大豆地域) 0.65 (0.52-0.82) 第三地域: (ポテト、小麦、テンサイ地域。除草剤使用が多い) 0.89 (0.72-1.10)				
Schreinemacher, 2000 米国 白人 クロロフェノキシ除草剤で処理する spring wheat/durum wheatを生産 するミネソタ、ノースダコタ、 サウスダコタ、モンタナ州。 計152の郡 1980-1989 エコロジカル研究	クロロフェノキシ除草剤				SRR(95%CI) (郡の小麦作付け面積<23000エーカーに対して) 23000-110999エーカー; 0.91 (0.78-1.07) 111000エーカー以上; 1.06 (0.90-1.25)				
Hopenhayn-Rich, 2002 米国 ケンタッキー州の120の群 人口370万人 白人95% 1993-1997年のデータ。 エコロジカル研究	atrazine 曝露指標は公共水道水測定値、トウモロコシ栽培面積、アトラジン販売量から計算したscore。				曝露カテゴリ別罹患調整OR (95%CI) (reference categoryはlow群) Total score 1.00 1.01(0.83-1.21) 0.77(0.66-0.90) 0.76(0.65-0.88) アトラジン販売量score 1.00 1.06(0.92-1.22) 0.86 (0.73-1.01) 0.80(0.67-0.96) トウモロコシ栽培面積 1.00 0.95(0.82-1.10) 0.83 (0.71-0.97) 0.76(0.64-0.90) 公共水道水測定値 1.00 0.98(0.85-1.14) 0.90 (0.78-1.04) 0.85(0.73-0.98)				
Koifman, 2002 ブラジル ブラジルの11州 1996-1998年のデータ エコロジカル研究	農薬				相関係数(95%CI) (1985年の農薬販売量と1990年代の卵巣癌死亡率) 0.71 (-0.14-0.85)				